

UiPath ライセンスモデルポリシー

2022.2

UiPath のライセンス戦略は、一貫した包括的なエンド・ツー・エンドのプラットフォームをお客様に提供します。詳細は、[ライセンス・ガイド](#)（英語）を参照してください。本ライセンスポリシーは最新でない場合があります。最新のライセンスポリシーは <https://licensing.uipath.com/> をご参照ください。

本ライセンスポリシーは、現行バージョンの UiPath プラットフォームに適用されるライセンス及び特定の禁止事項等を規定するものです。UiPath とお客様との間で適用される UiPath の [トラストポータル](#) 上のライセンス契約と併せてお読みください。以下のプランに別段の定めがある場合を除き、SKU は、ライセンス期間を指定して申し込むことにより利用可能です。その他の単位（ユーザーの種類や消費量等）が、以下に記載のとおり適用される場合があります。

従前リリースされたバージョンに適用される本ポリシーのアーカイブは [こちらのリンク](#) をご参照ください。UiPath の商用ライセンスを使用する場合には、お客様は、本ライセンスポリシーに加えて、[UiPath 利用ポリシー](#) に従うものとします。

フレックスプラン

フレックスプランで提供される SKU は、以下の 3 つのデプロイメント環境で製品をデプロイ及びライセンスする権利を提供します。

- Automation Cloud – UiPath から SaaS として提供されるクラウドネイティブな UiPath Platform – Azure でホストされ、UiPath により管理されます。
- Automation Suite – 任意のオンプレミス環境又は主要クラウド事業者が提供するパブリック及びプライベートクラウド環境に単一のコンテナ化されたスイートとして展開可能な UiPath Platform
- 個別製品 – オンプレミス環境に個別の製品としてインストール及び管理を行う UiPath Platform 製品。製品は、オンプレミス環境で動作する Windows オペレーティング・システム及び物理／仮想ハードウェアに個別にインストールされます。

ユーザー階層

SKUs	UiPath ソフトウェア の機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Flex - Action Center - Named User	Action Center Apps Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> 最小購入数は 5 SKU です。 Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品（Windows インストーラ）を通じて運用管理される必要があります。

UiPath - Flex - Attended - Named User	Action Center Apps Attended Robot Data Service ¹ Integration Service ¹ Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とするデータサービス API リクエストが含まれます。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。 <p>¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。</p>
UiPath - Flex - Automation Developer - Named User	Action Center Apps Attended Robot Data Service ¹ Integration Service ¹ Studio StudioX Task Capture Test Manager User	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。 Test Manager の機能はプラットフォーム機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とするデータサービス API リクエストが含まれます。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 5,000 回の API リクエストが含まれます。 <p>¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。</p>
UiPath - Flex - Citizen Developer - Named User	Action Center Apps Attended Robot Data Service ¹ Integration Service ¹ StudioX Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とするデータサービス API リクエストが含まれます。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。 <p>¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。</p>
UiPath - Flex - Process Mining Business User - Named User	Action Center Process Mining for Business User ² Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 本 SKU の利用には Flex - Process Mining Rows Bundle - 20M が必要です。 最小購入数は 20 です。 <p>² 現在は Automation Cloud 又は個別製品で利用可能です。</p>
UiPath - Flex - Process Mining Developer - Named User	Action Center Apps Attended Robot Data Service ¹ Integration Service ¹	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 本 SKU の利用には Flex - Process Mining Rows Bundle - 20M が必要です。

[Process Mining for Business User²](#)
[StudioX](#)
[StudioX](#)
[Task Capture](#)
[Test Manager User](#)

- Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。
- Test Manager の機能を利用するためには、プラットフォーム機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。
- 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とするデータサービス API リクエストが含まれます。
- Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 5,000 回の API リクエストが含まれます。

¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。

² 現在は Automation Cloud 又は個別製品で利用可能です。

UiPath - Flex - Tester
 - Named User [Test Manager User](#)
 [Task Capture](#)

- Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 ([Windows インストーラ](#)) を通じて運用管理される必要があります。
- Test Manager の機能を利用するためには、プラットフォーム機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。

ロボットの種類に応じた SKU

SKUs	UiPath ソフトウェアの機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Flex - Unattended Robot	Data Service¹ Integration Service¹ Unattended Robot	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 • 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とするデータサービス API リクエストが含まれます。 • Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 5,000 回の API リクエストが含まれます。 <p>¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。</p>
UiPath - Flex - Unattended Robot - Non-Production	Non-Production Robot Integration Service¹	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 • お客様ごとの購入上限は、お客様が有する Unattended Robot ライセンスの総数の 30% 又は 2 ライセンスのいずれか大きい数までとなります。 • Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。 <p>¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。</p>

UiPath - Flex - Unattended Robot - Test	Testing Robots	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 UiPath - Test Manager が必要です。 開発目的で RPA ワークフローを実行するにはバージョン 2021.10 が必要です。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。
---	--------------------------------	---

Platform Add-On

UiPath - Flex - AI Unit Bundle - 10M	お客様は、Task Mining、Document Understanding、Computer Vision 等の機械学習 (ML) モデル、UiPath/UiPath Marketplace が提供する out-of-the-box (OOTB) モデル及びお客様自身の ML モデルのデプロイメント、管理及びトレーニングを行うことができます。	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 本 SKU には 10,000,000 AI Unit のバンドルが含まれます。
UiPath - Flex - AI Unit Bundle - 1M	お客様は、Task Mining、Document Understanding、Computer Vision 等の機械学習 (ML) モデル、UiPath/UiPath Marketplace が提供する out-of-the-box (OOTB) モデル及びお客様自身の ML モデルのデプロイメント、管理及びトレーニングを行うことができます。	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 <p>本 SKU には 1,000,000 AI Unit のバンドルが含まれます。</p>
UiPath - Flex - AI Unit Bundle - 60K	お客様は、Task Mining、Document Understanding、Computer Vision 等の機械学習 (ML) モデル、UiPath/UiPath Marketplace が提供する out-of-the-box (OOTB) モデル及びお客様自身の ML モデルのデプロイメント、管理及びトレーニングを行うことができます。	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 <p>本 SKU には 60,000 AI Unit のバンドルが含まれます。</p>
UiPath - Flex - Automation Hub	Automation Hub ³ Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 Automation Hub の複数のテナントにアクセスできるユーザーの数は無制限です。 Task Capture の利用は無制限です。 <p>³現在は Automation Cloud 又は Automation Suite で利用可能です。</p>

UiPath - Flex - Computer Vision	Computer Vision	<ul style="list-style-type: none"> ● 処理能力は 240 メガピクセル/分です。 ● アカウントごとに 1 つに制限されます。
UiPath - Flex - Insights	Insights	<ul style="list-style-type: none"> ● Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 ● 本番環境ライセンスには、最大 3 つの非本番環境 (開発/テスト) ライセンスも含まれます。
UiPath - Flex - Insights - 50 Designer Users Add-on	Insights	<ul style="list-style-type: none"> ● Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 ● 本番環境ライセンスには、最大 3 つの非本番環境 (開発/テスト) ライセンスも含まれます。
UiPath - Flex - Integration Service API Calls Bundle - 3M	Integration Service ¹	¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。
UiPath - Flex - Integration Service API Calls Bundle - 6M	Integration Service ¹	¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。
UiPath - Flex - Process Mining Rows Bundle - 20M	Process Mining ²	<ul style="list-style-type: none"> ● 本番環境ライセンスには、最大 3 つの非本番環境 (開発/テスト) ライセンスも含まれます。 ● Process Mining の機能へのアクセスを含み、Automation Cloud 又はスタンドアロンの Process Mining サーバーにおいて最大 20,000,000 行の Process Mining Capacity が利用できます。 <p>²現在は Automation Cloud 又は個別製品で利用可能です。</p>
UiPath - Flex - Test Management	Test Manager	<ul style="list-style-type: none"> ● Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。

UiPath - High Availability Add-On	HAA	<ul style="list-style-type: none"> Automation Suite、又は Orchestrator Standard 経由の個別製品（Windows インストーラー）においてのみ利用可能です。 Orchestrator Standard については、本ライセンスは、マルチノードで構成される 1 つの Orchestrator インスタンスの運用を可能にします。（すなわち、HAA クラスターが 1 つより多い場合は、High Availability Add-On の追加ライセンスが必要になります。） 本番環境ライセンスには、最大 3 つの非本番環境（開発/テスト）ライセンスも含まれます。
-----------------------------------	-----	--

クラウドプラン

ユーザー階層

SKUs	UiPath ソフトウェアの機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Cloud Process Mining Business User	Action Center Process Mining for Business User ² Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品（Windows インストーラ）を通じて運用管理される必要があります。 最小購入数は 20 です。 ² 現在は Automation Cloud 又は個別製品で利用可能です。
UiPath - Cloud Automation Developer - Named User OR UiPath - Cloud Automation Developer - Multiuser	Action Center Apps Attended Robot Data Service ¹ Integration Service ¹ Studio StudioX Task Capture Test Manager User	<ul style="list-style-type: none"> Multiusers ライセンスの利用には Multiusers Add-On が必要です。 Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。 Test Manager の機能を利用するためには、Platform Add-On 機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。 Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品（Windows インストーラ）を通じて運用管理される必要があります。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。

- Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 5,000 回の API リクエストが含まれます。

¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。

UiPath - Cloud Orchestrated Action Center - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated Action Center - Multiuser	Action Center Apps Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> 最小購入数は 5 SKU です。 Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Cloud Orchestrated Attended - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated Attended - Multiuser	Action Center Apps Attended Robot Data Service¹ Integration Service¹ Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。
¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。		
UiPath - Cloud Orchestrated Process Mining Developer - Named User	Action Center Apps Attended Robot Data Service¹ Integration Service¹ Process Mining for Developers² Studio StudioX Task Capture Test Manager User	<ul style="list-style-type: none"> 本 SKU の利用には Process Mining サーバーが必要です。 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。 Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。 Test Manager の機能を利用するためには、Platform Add-On 機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 5,000 回の API リクエストが含まれます。
¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。		
² 現在は Automation Cloud 又は個別製品で利用可能です。		

UiPath - Cloud Orchestrated - Citizen Developer - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated - Citizen Developer - Multiuser	Action Center Apps Attended Robot Data Service¹ Integration Service¹ StudioX Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品（Windows インストーラ）を通じて運用管理される必要があります。 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。 Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。 <p>¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。</p>
UiPath - Cloud Tester - Named User	Task Capture Test Manager User	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品（Windows インストーラ）を通じて運用管理される必要があります。 Test Manager の機能を利用するためには、Platform Add-On 機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。
UiPath - Multiuser Add-On	Add-on for Multiuser	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator-Standard 又は Automation Cloud においてのみ利用可能です。 Multiuser ライセンスを利用するお客様ごとに 1 つのみ購入が必要です。

※UiPath RPA Developer/Cloud Orchestrated RPA Developer、RPA Developer Pro/Cloud Orchestrated Developer Pro 及び Test Developer Pro は、2021 年 4 月をもって Automation Developer の SKU に統合されました。これらの既存の SKU は、更新又は新規購入に伴い、ご利用いただけなくなります。

ロボット階層

SKUs	UiPath ソフトウェア の機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Automation Cloud Robot	セキュアな Automation Cloud の セッションにおいて、 UiPath により配置・ 管理される Unattended Robot	Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Cloud Orchestrated Robot - Non-Production	Integration Service¹ Non-Production Robot	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品（Windows インストーラ）を通じて運用管理される必要があります。

- お客様ごとの購入上限は、お客様が有する Unattended Robot ライセンスの総数の 30% 又は 2 ライセンスのいずれか大きい数までとなります。
- Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。

¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。

UiPath - Cloud Orchestrated Unattended Robot	Data Service ¹ Integration Service ¹ Unattended Robot	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 • 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。 • Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 5,000 回の API リクエストが含まれます。
¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。		
UiPath - Cloud Orchestrated Unattended Robot - Test	Integration Service ¹ Testing Robots	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 • 開発目的で RPA ワークフローを実行するにはバージョン 2021.10 が必要です。 • Integration Service には、ライセンス期間が終了するまで 1 か月あたり 3,000 回の API リクエストが含まれます。
¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。		

Platform Add-On

SKUs	UiPath ソフトウェア の機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Cloud Automation Hub - Standard	Automation Hub ³ Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。 • Automation Cloud で利用可能な Automation Hub の複数のテナントにアクセスできるユーザーの数は無制限です。 • Task Capture の利用は無制限です。
³ 現在は Automation Cloud 又は Automation Suite で利用可能です。		
UiPath - Cloud Insights	Insights	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Cloud Process Mining 20M Rows Bundle	Process Mining ²	<ul style="list-style-type: none"> • Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。

		<ul style="list-style-type: none"> Process Mining の機能へのアクセスを含み、Automation Cloud 又はスタンドアロンの Process Mining サーバーにおいて最大 20,000,000 行の Process Mining Capacity が利用できます。 <p>² 現在は Automation Cloud 又は個別製品で利用可能です。</p>
UiPath - Cloud Test Management	Test Manager	<ul style="list-style-type: none"> Automation Cloud、Automation Suite 又は個別製品 (Windows インストーラ) を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Computer Vision - On Cloud	Computer Vision	<ul style="list-style-type: none"> 処理能力は 240 メガピクセル/分です。 アカウントごとに 1 つに制限されます。
UiPath - Integration Service API calls bundle - 3M	Integration Service ¹	¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。
UiPath - Integration Service API calls bundle - 6M	Integration Service ¹	¹ 現在は Automation Cloud で利用可能です。

オンプレミスプラン

ユーザー階層

SKUs	UiPath ソフトウェアの機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Action Center - Named User OR UiPath - Action Center - Multiuser	Action Center Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 最小購入数は 5 SKU です。
UiPath - Attended - Named User OR UiPath - Attended - Multiuser	Action Center Attended Robot Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。

		<ul style="list-style-type: none"> 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。
UiPath - Automation Developer - Named User OR UiPath - Automation Developer - Multiuser	Action Center Attended Robot Studio StudioX Task Capture Test Manager User	<ul style="list-style-type: none"> Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。 Test Manager の機能を利用するためには、Platform Add-On 機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。
UiPath - Citizen Developer Named User OR UiPath - Citizen Developer - Multiuser	Action Center Attended Robot StudioX Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。
UiPath - Multiuser Add-On	Add-on for Multiuser	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - Standard 又は Automation Cloud においてのみ利用可能です。 Multiuser ライセンスを利用するお客様ごとに 1 つのみ購入が必要です。
UiPath - Process Mining Business User - Named User	Action Center Process Mining for Business User Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 本 SKU の利用には Process Mining Server が必要です。 最小購入数は 20 です。
UiPath - Process Mining Developer - Named User	Action Center Attended Robot Process Mining for Developers Studio StudioX Task Capture	<ul style="list-style-type: none"> Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 本 SKU の利用には Process Mining - Server が必要です。 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。 Test Manager の機能を利用するためには、Platform Add-On 機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。
UiPath - Tester - Named User	Task Capture Test Manager User	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 Test Manager の機能を利用するためには、Platform Add-On 機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。

- Test Manager の利用には、2021.4 以降のバージョンが必要です。

※UiPath RPA Developer/Cloud Orchestrated RPA Developer、RPA Developer Pro/Cloud Orchestrated Developer Pro 及び Test Developer Pro は、2021 年 4 月をもって Automation Developer の SKU に統合されました。これらの既存の SKU は、更新又は新規購入に伴い、ご利用いただけなくなります。

ロボット階層

SKUs	UiPath ソフトウェア の機能	前提条件及び使用上のルール
UiPath - Unattended Robot - Test	Testing Robot	<ul style="list-style-type: none"> • UiPath - Orchestrator - NonProduction 又は UiPath - Orchestrator - Standard の非本番環境のテナントのいずれかが必要です。 • UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 • UiPath - Test Manager が必要です。 • 開発目的で RPA ワークフローを実行するにはバージョン 2021.10 が必要です。
UiPath - AI Robot	AI Robot	<ul style="list-style-type: none"> • UiPath - Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - AI Robot Pro	AI Robot (includes management for 1 GPU)	<ul style="list-style-type: none"> • UiPath - Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - Robot - NonProduction	NonProduction Robot	<ul style="list-style-type: none"> • お客様ごとの購入上限は、お客様が有する Unattended Robot ライセンスの総数の 30%又は 2 ライセンスのいずれか大きい数までとなります。
UiPath - Unattended Robot - Concurrent Runtime	Unattended Robot	<ul style="list-style-type: none"> • 本 SKU の利用には UiPath -Orchestrator が必要です。

Platform Add-On

SKUs	UiPath ソフトウェア の機能	前提条件及び使用上のルール
------	----------------------	---------------

UiPath - Computer Vision - On-Prem	Computer Vision	<ul style="list-style-type: none"> アカウントごとに1つに制限されます。
UiPath - Connector for Salesforce		<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - Standard が必要であり、また、UiPath - Orchestrator Standard においてのみ利用可能です。
UiPath - Document Understanding Page Bundle - 10M	Document Understanding	<ul style="list-style-type: none"> 10M (10,000,000) ページ単位での文書の処理が可能です。 UiPath - Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - Document Understanding Page Bundle - 1M	Document Understanding	<ul style="list-style-type: none"> 1M (1,000,000) ページ単位での文書の処理が可能です。 UiPath - Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - Document Understanding Page Bundle - 40k	Document Understanding	<ul style="list-style-type: none"> 40k (40,000) ページ単位での文書の処理が可能です。 UiPath - Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - High-Availability Add-On for Orchestrator	HAA	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - Standard においてのみ利用可能です。 UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 本ライセンスは、マルチノードで構成される1つの Orchestrator インスタンスの運用を可能にします。(すなわち、HAA クラスターが1つより多い場合は、High Availability Add-On の追加ライセンスが必要になります。)
UiPath - High-Availability Add-On for Orchestrator NonProduction	HAA	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - NonProduction においてのみ利用可能です。 UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 本ライセンスは、マルチノードで構成される1つの非本番環境における Orchestrator インスタンスの運用を可能にします。
UiPath - Insights - Orchestrator Add-On	Insights	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。
UiPath - Insights - Orchestrator Add-On - NonProduction	Insights	<ul style="list-style-type: none"> UiPath - Orchestrator - NonProduction においてのみ利用可能です。 UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。
UiPath - Orchestrator - Basic	Orchestrator	<ul style="list-style-type: none"> 本番環境用テナントを1つ作成可能な Orchestrator であり、別途購入が必要な、Attended User、Citizen Developer、Unattended Robot の任意の組み合わせで最大5ライセンスに加

		<p>え、Automation Developer、Process Mining Developer の任意の組み合わせで最大 5 ライセンスを管理することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じインスタンスに非本番用テナントを作成することができます。 • Multiuser SKU はサポートされていません。 • Orchestrator Basic におけるご利用可否については、各 SKU を参照してください。
UiPath - Orchestrator - Basic Upgrade	Upgrade from UiPath - Orchestrator - Basic to UiPath - Orchestrator - Standard	<ul style="list-style-type: none"> • UiPath - Orchestrator - Basic を既にご利用いただいていることが必要です。
UiPath - Orchestrator - Standard	Orchestrator	
UiPath - Orchestrator - NonProduction	Orchestrator	
UiPath - Process Mining Server	Process Mining Server	<ul style="list-style-type: none"> • プロセスの数は無制限です。
UiPath - Process Mining Server - Non-Production	Process Mining Server	<ul style="list-style-type: none"> • プロセスの数は無制限です。 • 非本番目的での使用に限定されます。

製品の定義

<https://docs.uipath.com> に記載される UiPath Platform スイート製品ライセンスは、ご利用可能な SKU に従って提供されます。

UiPath には 3 種類の環境オプションがあります。

- **Automation Cloud** は、自動化の作業及びリソースを一元管理することができるクラウドベースの SaaS ソリューションです。それによって、お客様は、Robot Factory（自動化に関する設計や開発、統合、情報共有等のためのプラットフォーム）をデプロイ、運用及びスケールすることができます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Automation Suite** は、スケール機能、高可用性やバックアップ機能の実装とともに、多くの UiPath 製品及び機能をスイート化して、対応するあらゆる環境（既存の Azure 上の仮想マシン、AWS 環境、GCP 環境やオンプレミス環境）にインストールすることができます。詳細は、こちらをご覧ください。

- **個別製品** UiPath Platform 製品は、オンプレミスで個別にインストール及び管理されます。利用可能な製品は、オンプレミスでサポートされる Windows オペレーティングシステム及び物理的／仮想ハードウェアにインストールされます。

Action Center は、実行時間の長いワークフローを処理する際にユーザーに割り当てられたタスクを実行するために使用されます。ワークフローの次の段階に進むためには、ユーザーによる介入が必要です。詳細は、こちらをご覧ください。

Activities は、UiPath が開発したか又は取得可能な状態にした自動化プロジェクトのソフトウェア・テンプレートです。

AI Center は、機械学習モデルの開発、トレーニング、格納及びデプロイメントに使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。

AI Robot は、ML スキルを提供するためのランタイム及び ML トレーニングジョブを実行するためのランタイムです。1 台の AI Robot は、2 つの ML スキルを同時に提供、又は 1 つの ML トレーニングジョブを実行することができます。詳細は、こちらをご覧ください。

Apps は、クラウド又はオンプレミスのシステム間でデータを連携することができるカスタムビジネスアプリケーションを、迅速に作成することができるローコードアプリケーション開発プラットフォームです。詳細は、こちらをご覧ください。

Automation Cloud は、自動化の作業及びリソースを一元管理することができるクラウドベースの SaaS ソリューションです。それによって、お客様は、Robot Factory（自動化に関する設計や開発、統合、情報共有等のためのプラットフォーム）をデプロイ、運用及びスケールすることができます。詳細は、こちらをご覧ください。

Automation Hub は、自動化のアイデアを識別及び評価し、実装を管理し、自動化アーチファクトを保管するために使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。

Computer Vision は、機械学習テクノロジーによりスクリーン構成要素を特定し、アプリケーションを自動化するために使用されます。

Data Service は、データストレージサービスであり、お客様は、関連的なデータの種類、統合セキュリティ並びに即座の提供及び配置等の機能を活用することができる自動化を行うことができます。詳細は、こちらをご覧ください。

Document Understanding を使用すると、ユーザーは、機械学習モデルを使用して、デジタル化、分類及び抽出の機能の組み合わせによって、ドキュメントからのデータ抽出を行うことができます。詳細は、こちらをご覧ください。

Insights は、データのモデル化及び分析のための Orchestrator 統合型プラットフォームを提供します。Insights は、お客様のデータを任意の分析軸で可視化するために使用されます。お客様は、Insights によって、新たな分析的洞察を発見し、パフォーマンス指標を追跡し、エラー又は異常を検知することができます。詳細は、こちらをご覧ください。

Orchestrator は、製品のデプロイ、管理及び監視に使用されます。1 つの Orchestrator インスタンスは、複数のテナントに分けることができ、それぞれが別個の論理環境となります。詳細は、こちらをご覧ください。

Process Mining は、IT システムのデータからプロセスに関する洞察を得るためのプロセス分析方法です。Process Mining は、実際に生じるプロセスを正確に示すための事実に基づく手法です。詳細は、こちらをご覧ください。

Robot は、特定の使用制限に従い、自動化ワークフローを実行するために使用されます。Robot の種類は以下のとおりです。詳細は、こちらをご覧ください。

- **Attended Robot** : ユーザーの監視下において、ユーザーの直接操作によるワークフローの実行を行います。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Unattended Robot** : ユーザーの監視下でない状態で、UiPath Orchestrator が提供する管理機能を通じてワークフローを実行します。詳細は、こちらをご覧ください。

Studio は、自動テスト機能を追加した自動化ワークフローを設計及び改修するために使用されます。Studio には、これまで Studio Pro として提供されていたソフトウェア開発や自動化プロセス開発のテスト機能が含まれます。詳細は、こちらをご覧ください。

StudioX は、自動化ワークフローを設計及び改修するために使用される、ノーコードの開発環境です。詳細は、こちらをご覧ください。

Task Capture は、ユーザーが行っているプロセス及びアクションを表示及び記録することができるプロセス発見ツールです。詳細は、こちらをご覧ください。

Task Mining は、プロセスワークフローを自動的に特定及び集約します。Task Mining は、ユーザーのアクションを記録し、それを分析し、ダッシュボード全体にその結果を表示するために使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。

Test Manager は、ALM ツールとの統合を促進する編成レイヤーに沿って、テスト計画、要件のトレーサビリティ及び不具合報告を可能にするウェブベースのインターフェースです。詳細は、こちらをご覧ください。

ガイドライン及び制限

- i. 同じ製品の Multiuser ライセンスと Named User ライセンスは、同じ Orchestrator キーにおいて共存できません。
- ii. Robot のライセンスを使用した Studio のアクティベーションは、以下の限られた目的のみににおいて可能とします（ワークフローの開発を目的とすることはできません。）。
 - o Attended Robot 又は Testing Robot によるアクティベーションはデバッグ目的に限定されます（ワークフローの編集は認められません。）。
 - o Unattended Robot 又は NonProduction Robot によるアクティベーションはトラブルシューティング目的に限定されます（ワークフローの編集が認められます。）。
- iii. Orchestrator と共に使用しない Studio 及び Attended Robot は、スタンドアロンライセンスでアクティベーションされます。
- iv. Attended Robot を Unattended Robot として使用することはできません。
- v. 非本番環境の製品を本番環境において使用することはできません。本番環境において、非本番環境ライセンスを使用し、自動化ワークフローを実行することはできません。
- vi. ディザスター・リカバリーは、UiPath が認める一定の製品についてのみ行うことができ、かかる製品の本番環境ライセンスと同じルール及び制限に従うものとします。本番環境ライセンスとディザスター・リカバリー環境のセットアップを同時に有効化することはできません。
- vii. フレックスプラン又はクラウドプランを通じて運用管理される製品について、お客様は、当該製品のデプロイメント環境を 1 つ選択しなければなりません。お客様は、Automation Cloud、Automation Suite 及び個別製品（[Windows インストール](#)）で同じ製品ライセンスを同時に使用することはできません。お客様は、ライセンス期間中にデプロイメント環境（すなわち Automation Cloud、Automation Suite、個別製品）を変更することが認められます。UiPath は、あるデプロイメント環境から別のデプロイメント環境への移行を完了するために 3 か月の移行期間を付与します。なお、移行期間

中においては、お客様は、双方の環境で同じ製品ライセンスをデプロイすることができます。この移行は、各ライセンス期間につき 1 回に制限されます。

ライセンスの定義

このポリシーで使用されているが定義されていない用語は、ライセンス契約で定義された意味を持つものとします。

New! AI Unit は、Document Understanding、Task Mining 等のファーストパーティ AI モデル、Out of the Box ML モデルやサードパーティ及びお客様の Bring Your Own モデルを含むあらゆる AI Center AI/ML ソリューションで使用される単位です。これらの AI Unit は、クラウド及びオンプレミスの両方によるデプロイメントに適用されます（Cloud の計算リソースが使用されると AI Unit が追加消費されます。）。

Attended Robot は、ユーザーの監視下において、ユーザーの直接操作によるワークフローの実行を行います。詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

Concurrent Runtime がオンラインで Orchestrator に接続された場合、コンピューターは、Orchestrator に接続するために使用するコンピューターのランタイム容量に相当するライセンス数を使用します。ランタイムは、特定のコンピューター上で同時に稼働することができるロボットの最大数を表します。

お客様とは、契約により製品を使用する権利を得た企業又は個人を意味します。

ディザスター・リカバリーは、壊滅的損失を受けて障害回復及び事業の継続のために関連ソフトウェアの使用が必要な場合にのみ使用されるライセンスのコピーです。

HAA (High Availability Add-on) は、マルチノードで構成される 1 つの Orchestrator 又は Automation Suite インスタンスの冗長性及び安定性を保つ高可用性ソリューションを提供します。

Multuser は、ライセンスが割り当てられた複数の認定ユーザーのうち、1 人のユーザーのみ同時にアクセスすることが許可されるライセンス・モデルです。これは、オンプレミスプラン及びクラウドプランでのみ利用可能です。各 Multuser ライセンスでは、アクセスすることが許可される個別の認定ユーザーを最大 3 人分まで割り当てることができます。Multuser は、旧バージョンのプラットフォームでは「Concurrent ユーザー」と表示される場合があります。

Named User とは、ライセンスが特定されたユーザーに付与され、かつ、かかるユーザーによってのみ使用される場合のライセンス・モデルです。

非本番とは、特定のソフトウェアについてのみ使用可能であり、本番環境の使用を除く、内部開発、内部トレーニング及び評価等を目的とする非本番環境での使用を意味します。

本番とは、規定された商用目的に従ったソフトウェアの使用を意味します。

製品、サービス又はソフトウェアは同じ意味で使用されることがあり、それぞれ、ソフトウェア・コンポーネント、サービス及び UiPath 独自の基礎技術を意味します。UiPath は、自らのお客様にライセンスを付与し又は配布する権利を有しています。



Runtime とは、Unattended Robot が自動化処理を実行することが可能な単位です。（物理的又は仮想的にも）1 台の端末は、同端末上で同時に使用することができる Unattended Robot と同じ数の Runtime を実行することができます。

Unattended Robot は、ユーザーの監視下でない状態で、UiPath Orchestrator が提供する管理機能を通じてワークフローを実行します。詳細は、[こちら](#)をご覧ください。